

## 令和3年度 連携型中高一貫教育 実施報告

<美濃地区> 郡上市立白鳥中学校 岐阜県立郡上北高等学校

### 1 連携型中高一貫教育の目標とその達成に向けた具体的な取組

#### (1) 連携型中高一貫教育の目標

## 不撓不屈の郡上人


- ☆ 「なにくそ、おかげさま」の心でやり抜く子
- ☆ 高い志をもち、ひたむきに努力する子

郡上の人々は、古くから「不屈の精神」「感謝の気持ち」を信条にふるさとを切り拓いてきた。この伝統を受け継ぎ、「確かな学力」「共に生きる力」「自立する力」の3つを育むことを通して「新しい未来に向かって、郡上を愛し郡上を支える子」を育てたい。

#### (2) 連携型中高一貫教育の令和3年度の重点

- 授業における「学びでのつながり」と活動における「貢献でのつながり」のさらなる充実を図るために、単位制普通科4コースの特性を踏まえながら、オンラインも含めた授業支援の実施方法や時期・活動の在り方について検討する。
- 生徒による授業支援の計画・実施を通して、小中高の12年間を見通した系統的な学びの在り方について模索する。
- これまでの活動から中学高校地域とのかかわりが深まっており、地域の人材を生かした進路・キャリア教育の充実を図る。

### 2 目標達成に向けた具体的な取組における成果と課題

目標	取組	成果と課題
確かな学力の育成	学習指導	<ul style="list-style-type: none"><li>○高等学校の教員から学ぶことで高等学校での学びに対する見通しもち、今学ぶべきことの意義を理解し、主体的に学ぶ姿勢につながった。</li><li>○互いの生徒の学習姿勢や生活態度などを把握することができ、担当教員が中高での橋渡しの役割を果たすことができた。 (英語・数学で実施)</li><li>▲「夏休み学習会」は新型コロナウイルス感染症の影響から実施できなかった。来年度は実施予定。</li><li>▲「出前講座」も同様に新型コロナウイルス感染症の影響から実施できなかった。来年度は実施予定。(9月末頃を予定)</li></ul>
	授業参観と授業研究会	<ul style="list-style-type: none"><li>○中高教員による授業参観期間を実施した。互いの授業と生徒の様子を参観し合うことを通して、学習活動や指導援助の工夫などの実践的交流を行うことで、授業の質の向上に資することができた。</li><li>○互いの研究発表会に教員が参加し、研究内容とその成果・課題をもとに、系統的な学びについて研修することができた。</li><li>○高等学校における観点別評価の実施に向けて、観点別評価の在り方や運用について教科別に中学校と情報交換を行った。</li><li>▲郡上市教育研究会が実施する研究会に高校教員が参加していたが、今年度は参加できなかった。来年度は参加予定。</li></ul>
	高校生による授業支援	<ul style="list-style-type: none"><li>○観光・ビジネスコースの生徒が地域課題を解決する際に必要となる課題解決力、表現力を中学生が身に付ける支援をオンラインにより行った。</li><li>▲オンラインを含め授業支援の実施方法や時期について検討する必要がある。</li></ul> 

(様式5)

共に生きる力の育成	生徒交流	<p>▲これまで例年実施してきた中高合同の挨拶運動や、体育祭・文化祭などの行事における交流を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の流行期にあたり中止した。来年度は実施予定。</p>	
	部活動交流	<p>○吹奏楽部が合同定期演奏会を行った。また、女子バレーボール部が合同練習を行った。他の部活動でも交流の機会をもととする試みがなされたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で見合わせるようになった。</p> <p>▲中学校での経験を高等学校で活かすことができるように、部活動の連携について検討する必要がある。</p>	
	地域交流 (公民館応援隊)	<p>○地域のイベントや行事に参加することを通して、地域のために役立っているという自己有用感を育むことができた。</p> <p>○生徒が企画した行事の運営に携わることで、充実感や満足感を得ることができ、参加する人数も増えてきた。</p> <p>▲新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底していく必要がある。</p>	
自立する力の育成	先輩に学ぶ会	<p>○進路を実現した先輩からの「生の声」を聴くことで、本当に大切にすべきものは何かについて見つめるよい機会となった。</p> <p>○各教室で実施したため、中学生が高校生に質問しやすい環境で行うことができ、活発に質疑応答がなされた。</p> <p>▲クラスによって積極性で差が出たが、今年度の形式で来年度も実施を検討する。</p>	
	地域人に学ぶ	<p>○企業がどのような人材を求めているのか。また、社会人に求められる資質とは何かを郡上市内の企業の方から直接学ぶことができた。</p> <p>○地域住民が中学のキャリア教育に参加することで、地域に貢献する先輩の思いを学ぶことができた。</p> <p>▲さらに、郡上北高等学校の魅力伝えるために時期や回数、内容等を検討する必要がある。</p>	
	地域に生きる	<p>○『郡上の未来をつくるアイデアコンテスト』の提案に向けて、生徒が中学校での「郡上学」の学びを生かし、郡上北高等学校の「総合的な探究の時間」に活動を行った。地域的な課題を生徒がより深める機会になった。</p> <p>▲中高の連携を深めるためオンラインを含めた実施方法や実施時期を今後検討する必要がある。</p>	